



# 鞆の浦学園だより



No.7  
2021年(令和3年)7月5日

## 「自分の意見が他者に伝わるプレゼンを作成しよう！」

～渾身の力を込め自らの考えを表現、さすが9年生～

先日、国語の素晴らしい授業を見たので紹介します。図書館に入りたい「お薦め本」を一人一人がプレゼンテーションで紹介する取組でした。

国語担当の世良教諭は、次の3つの力を付けたいと考え授業を展開しました。プレゼンする相手は、本校図書館を担当している鮫島先生です。

- 1 本を読んで、情報を得たり、自分の考えを深めたりする力
- 2 タブレットを用いて関連した本の情報を入手する力
- 3 プレゼンの方法を選び、自分の意見に説得力を持たせる力



パワーポイントで説明する生徒、画用紙で手書きの文字や写真を活用し説明する生徒など、自分で考え、プレゼン方法を選択し、制限時間1分30秒を意識しながら頑張りました。

この授業までに、何歳でどんな本を読んだかを示した「読書年表」を作成し、どれが「お薦め本」か、どんな方法で説明すれば「よし、図書館に入れよう！」となるのか何度も何度も考えたと思います。

- ・「すごく緊張した。・・・1分半というのがすごく早くて、どうしても説明を省くか早口になるので、そこが難しかった。」
- ・「大好きな本を知ってもらえてうれしかった。でも、緊張した。下準備ができていなかったけれど、自分の言葉で精一杯表現できたと思う。」
- ・「普段、全然本を読んだり図書館に来ない自分が説明や紹介しても、説得力がないなと思った。普段からよく読んでいる人の方が、確実性がある。」
- ・「1回目に読んだときは、「いい話だな」「俺もやってみたい」という感想しかわかなかったけど、改めて読み返すと「ここにこんな工夫があった!」「なんでその表現で?」という気づきがたくさんあった。・・・」

ほとんどの生徒が、「とても緊張した」、「パニックになり言い忘れた」とか、「お願いします」を言い忘れたなどを感想に書いていました。

プレゼンは、ただ原稿を読むものではありませんでした。自分の言葉で精一杯、相手に伝えようとする姿がありました。とても緊張したこの瞬間は、これからの人生できっと役に立ちます。9年生にとっては、忘れがたい思い出の1ページとなりました。

## 祝！福山市市政施行105周年！

7月1日は、福山市の「市政施記念日」でした。給食にも、福山市の誕生日を祝って「ふくやまたっぷりやきにく」等の県内産食材を使った『地産地消給食』が出されました。

5年前の市制施行100周年では、福山の魅力を市内外に発信するため、市民投票により「福の山百選」が選ばれました。鞆の浦に関する「宝」も次のように選ばれたこと、みなさん覚えておられますか？

【観部門】 1位 鞆の浦      【品部門】 5位 保命酒

他にも、【観部門】10位に 仙酔島が、【宝部門】5位に鞆港の景観が選ばれました。鞆の浦は、福山の「宝」がいっぱいです。

子ども達に「福山といえば何を思い浮かべるか」を聞いてみました

6月30日

ばら 53%	福山城 12%	ちくわ 8%	ちやん 8%	鞆の浦 8%	その他 11%
-----------	------------	-----------	-----------	-----------	------------

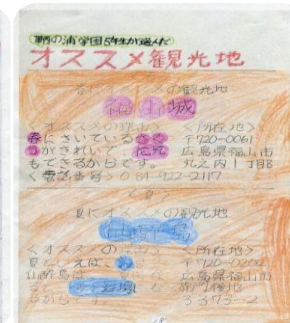
その他の中には、常夜燈や仙酔島、鯛、琴などもあげられていました。

## ふるさと鞆・福山の魅力発信～「鞆学」での取組～

市役所に置いて紹介予定!



5年生の福山市の魅力をもとめた「バリええけんね! 福山」を今後、広く市民の皆さんへ発信予定!



商品化に期待が高まる!



8年 沖浦悠仁くん作「保名酒 酒粕クッキー」中山熔断さんに特注した焼印が鞆らしさをアップ